

「健幸づくり推進計画」に関する指標について、【指標】・【目標値】・【基準値】・【令和4年度実績】・【目標値に対する評価】を以下のとおり報告します。
 なお【評価】は、目標値に対して達成している項目を《A(目標達成)》、目標は達成していないが平成24年度(総合計画・総合戦略は令和元年度)から改善傾向の項目を《B(改善)》、横ばい(微減)の項目を《C(横ばい)》、低下傾向の項目を《D(悪化)》と評価しています。

1. いきいき健康づくり

(1)食生活分野の目標と指標

指標	目標値 (R5年度)	基準値 (H24年度)	R3年度	R4年度	評価	目標達成状況	H24→R4評価	傾向	備考	
1 幼児(肥満傾向の子どもの割合) ※肥満度15%以上	減少傾向	5.1%	6.3%	7.5%	D	未達成	悪化		増加の主な要因は以下の点が考えられる。 ・コロナ禍における生活の制限や変化により、家庭で過ごす時間の増加、これに伴う活動量の減少、メディア時間の増加、間食摂食頻度、量が増加している。 ・共働き世帯が多く、中食やテイクアウト、総菜、冷凍食品を利用する家庭が増加傾向にある。	
2 適正体重を維持している人の割合 小学校4年生(肥満傾向の子どもの割合) ※肥満度20%以上	男性	減少傾向	5.7%	11.5%	16.9%	D	未達成	悪化		年度によるバラつきが見られるが、全体的に見て、男子は小・中ともに増加傾向、女子は小学生では横ばいから増加傾向、中学生では減少傾向にある。 増加傾向の要因として、コロナ禍による在宅での時間が多くなり、身体を動かす機会が減少したことが大きいと考えられる。また、運動よりも室内でのゲーム、スマホなどの利用が増えていることも要因と考えられる。
	女性	減少傾向	7.2%	11.4%	9.8%	D	未達成	悪化		
3 中学校1年生(肥満傾向の子どもの割合) ※肥満度20%以上	男性	減少傾向	5.9%	10.3%	12.4%	D	未達成	悪化		男女ともに増加傾向にあり、特にR2年度に大きく増加した。コロナ禍による生活変化(活動量減少等)が要因と考えられる。
	女性	減少傾向	11.8%	10.7%	4.7%	A	達成	改善		
4 40～64歳(BMI25以上の人の割合)	男性	22%以下	25.3%	32.8%	32.7%	D	未達成	悪化		基準年よりは改善しているが、R2年度以降は悪化傾向にある。コロナ禍による生活変化(活動量減少等)が要因と考えられる。
	女性	15%以下	17.9%	21.5%	21.2%	D	未達成	悪化		
5 低栄養傾向の高齢者(BMI20以下の割合)	26%以下	21.7%	21.0%	21.5%	A	達成	横ばい			
6 朝食を毎日食べる人の割合	幼児	100%	93.0%	95.4%	93.4%	B	未達成	改善		目標を高く設定した為達成はしていないが、30代以外は改善しており、特に幼児・小・中学生や40～60代は高い水準にある。
	7 小学校	100%	89.1%	98.0%	97.0%	B	未達成	改善		
	8 中学校	100%	88.3%	96.0%	95.0%	B	未達成	改善		
	9 20代	85%以上	57.1%	-	64.7%	B	未達成	改善		
	10 30代	85%以上	77.4%	-	77.8%	C	未達成	横ばい		
11 40～60代	90%以上	85.1%	-	87.7%	B	未達成	改善			
12 ほぼ毎食、主食・主菜・副菜をそろえて食べる人の割合	80%以上	63.7%	-	60.0%	C	未達成	横ばい		「毎食」という目標設定が高いこともあり、特に30代で低下傾向にある。多忙などが影響しているか。	
13 ごはんを中心とした日本型食生活につとめている人の割合	85%以上	80.2%	-	78.5%	C	未達成	横ばい		30～50代の働き世代でやや低く、簡単に食事を済ませているか。60歳代以降では目標値にほぼ達している。	
14 共食を心がけている保護者の割合(幼児)	90%以上	81.9%	96.0%	94.1%	A	達成	改善			
15 学校給食における地元産農産物を使用する割合(重量割合)	40%以上	26.2%	36.4%	43.3%	A	達成	改善			
16 健康づくり支援店の数	30店舗以上	22店舗	28店舗						R3年度に終了したため評価せず。	
17 食育に関心のある人の割合	90%以上	72.6%	-	79.1%	B	未達成	改善		60代以降で関心が高い。	
18 食育の推進に関するボランティア数	150人以上	124	176	183	A	達成	改善		フードバンク、子ども食堂に携わるボランティア数が増えていると考える。	
19 喫煙者の割合	12%以下	16.7%	-	11.4%	A	達成	改善		H28年度に大幅に減少し、その後低い割合を維持している。	
20 定期的に歯科検診を受ける人の割合(20歳以上)	40%以上	33.2%	-	47.5%	A	達成	改善		①歯周疾患検診(30,40,50,60,70,76,80歳の節目年齢を対象)の実施 ②①の未受診者への再勧奨 ③R2年度から①に30歳を追加し、30～60歳については、受診負担額を700円から300円に引き下げる(70歳以上は無料)などが改善要因と考える。	
21 12歳児の1人平均むし歯本数(永久歯)	0.35本以下	0.67	0.27	0.23	A	達成	改善		フッ化物洗口及び歯みがき、ブラッシング指導が効果を上げていていると考える。	

(2)運動・スポーツ分野の目標と指標

指標	目標値 (R5年度)	基準値 (H24年度)	R3年度	R4年度	評価	目標達成状況	H24→R4評価	傾向	備考
22 健康運動教室継続者数	1,800人以上	1,432	1,203	1,228	B	未達成	改善		運動教室の利用者は減少しているが、H29年度より開始した「健幸ポイント事業」の参加者は年々増加し約2,000人となっていることや、定期的に運動している市民の割合が増加(H28:19.6%→R4:24.2%)していることから、B(改善)と評価。
23 スポーツ施設の利用者数	175,000人以上	165,814	143,502	163,086	B	未達成	横ばい		基準値からは減少しているが、コロナ禍前までは増加傾向にあった(H28～30は約18万人前後)ことからB(改善)と評価。

(3)生きがい分野の目標と指標

指標	目標値 (R5年度)	基準値 (H24年度)	R3年度	R4年度	評価	目標達成状況	H24→R4評価	傾向	備考
24 悠々ライフ参加延べ人数	7,000人以上	4,835	2,931	5,059	B	未達成	改善		悠々ライフ参加者はコロナ禍で減少したが、R4は増加した。目標未達成・悪化の理由としては、コロナ禍に加え、高齢者の就業者の増加も影響しているものと考えられる(65～74歳の就業率 H22:28.4%→R2:40.5%)。
25 市民活動・ボランティア連絡協議会加盟団体活動者の数	2,100人以上	1,789	1,722	1,568	D	未達成	悪化		
26 ストレスや不安を感じても、元気になる人の割合 ※感じない人を含む	80%以上	79.2%	-	83.3%	A	達成	改善		改善傾向にあるが、R4市民アンケートではコロナ禍以前に比べて不安や気持ちの落ち込みを感じる割合が大幅に増加している。
27 自殺者(自殺率)の減少(10万人当たり)	22.9以下	26.6	18.0	R5秋頃確定値公表予定	A	達成	改善		R3時点で目標は達成しているが、コロナ禍のR2年度に大幅に悪化した。

(4)健(検)診分野の目標と指標

指標	目標値 (R5年度)	基準値 (H24年度)	R3年度	R4年度	評価	目標 達成状況	H24→R4 評価	傾向	備考
28 国保特定健診	60%以上	50.6%	49.0%	速報値 52.8%	B	未達成	改善		コロナ禍の影響によりR2年度は大きく低下したが、様々な感染対策やがん検診と特定健診を同時に受けられる半日ミニドックの回数増、受診勧奨等によりR3年度以降改善し、全ての数値で基準値を上回った。
29 胃がん検診	40%以上※1	18.9%	32.9%	35.6%	B	未達成	改善		
30 大腸がん検診	40%以上※1	28.9%	53.2%	57.5%	A	達成	改善		
31 肺がん検診	50%以上※1	42.4%	54.2%	59.7%	A	達成	改善		
32 子宮頸がん検診	50%以上※2	13.7%	41.9%	38.8%	B	未達成	改善		
33 乳がん検診	50%以上※1	14.9%	47.3%	43.3%	B	未達成	改善		
34 国保 特定保健指導率	60%以上	38.1%	41.5%	R5.秋頃確定値公表予定	B	未達成	改善		基準年に比べると改善したが、R1年度以降は低下・横ばい傾向にある。
35 国保 メタリックシートの該当者・予備群者減少率 (平成20年度と比較)	37%以上	35.3%	27.0%	速報値 28.3%	D	未達成	悪化		コロナ禍により特にR2年度に悪化している。コロナ禍による生活変化(活動量減少等)、保健指導等の介入不十分、受診控えなどが要因と考えられる。
36 高血圧有病率(140/90mmHg以上の割合)	減少	29.8%	31.5%	29.2%	A	達成	改善		
37 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者のうち、HbA1cがJDS値7.0%以上(NGSP値の場合7.4%以上)の割合 治療中、治療なしに分けて集計	治療中 減少	16.2%	34.4%	27.6%	D	未達成	悪化		
	治療無 減少	26.3%	29.6%	33.3%	D	未達成	悪化		

※1 がんの目標値は40歳以上70歳未満の受診率
 ※2 子宮がんの目標値は20歳以上70歳未満での受診率

2. 総合計画・総合戦略等の指標

指標	目標値 (R5年度)	基準値 (R1年度)	R3年度末	R4年度末	評価	目標 達成状況	R1→R4 評価	傾向	備考
38 ①刈谷田川フェスティバル参加者	1,400人以上	1,400	1,000人	1,200人	B	未達成	改善		感染症対策を講じ、イベント内容を制限する中、実施した。コロナによる制限が緩和される社会状況に加え、開催方法を工夫したことで、コロナ禍前の水準まで回復してきている。
39 ②設備投資応援補助金の申請件数(3年間の累計)	18件 ※R3-5:3か年	24件 ※H27-R1:5か年 ※R1は6件	4件	9件	B	未達成	改善		
40 ③進出企業交流会の開催数	2回	2回	0回 (新型コロナにより中止)	1回	B	未達成	改善		例年、年2回(6月と2月)に開催している進出企業交流会を7月に1回実施した。
41 ④【再掲】学校給食における地元産農産物を使用する割合(重量割合)	40%以上	35.5%	36.4%	43.3%	A	達成	改善		
42 ⑤交通事故件数(1.1~12.31)	50件以下	53件	28件	20件	A	達成	改善		
43 ⑥自主防災組織の組織率	100%	94.0%	94.0%	94.0%	B	未達成	改善		未結成町内に対して、自主防災組織や、補助金制度についての説明会を開き、自主防災組織の結成を呼びかける。
44 ⑦1人1日あたりのごみ排出量	850g/日以下	869g/日	870g/日	871g/日	C	未達成	横ばい		R4年度のごみの総排出量は約12,456tとなりR3年度より約119t減少したが、人口減少の影響により、1人1日あたりの排出量は1gの増加となった。
45 ⑧温室効果ガス(CO2)排出量	292千t以下 ※3	372千t (H25年度)	350千t (R1年度)	345千t (R2年度)	B	未達成	改善		新エネルギー導入促進事業補助金の周知や事業所への啓発、エコアクション等を通じ、地球温暖化対策を啓発するよう努める。
46 ⑨自分の住んでいる地域が好きなお子さんの割合	90.0%	94.0%	96.0%	95.0%	A	達成	改善		

※3 環境省公表「自治体排出量カルテ」の統計情報の制約上、算出及び公表は2年遅れ

まとめ

1. 項目数 ※1項目で男女ごとの指標を設けるなど2つの下位項目を立てている場合は0.5カウントとした						
	A(目標達成)	B(改善)	C(横ばい)	D(悪化)	合計	A+B
1.いきいき健康づくりの指標	12.5	14.0	3.0	6.5	36.0	26.5
(1)食生活分野の指標	7.5	6.0	3.0	3.5	20.0	13.5
(2)運動・スポーツ分野の指標	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0
(3)生きがい分野の指標	2.0	1.0	0.0	1.0	4.0	3.0
(4)健(検)診分野の指標	3.0	5.0	0.0	2.0	10.0	8.0
2.総合計画・総合戦略等の指標	3.0	5.0	1.0	0.0	9.0	8.0
合計	15.5	19.0	4.0	6.5	45.0	34.5

2. 割合						
	A(目標達成)	B(改善)	C(横ばい)	D(悪化)	A+B	
1.いきいき健康づくりの指標	34.7%	38.9%	8.3%	18.1%	73.6%	
(1)食生活分野の指標	37.5%	30.0%	15.0%	17.5%	67.5%	
(2)運動・スポーツ分野の指標	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
(3)生きがい分野の指標	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	75.0%	
(4)健(検)診分野の指標	30.0%	50.0%	0.0%	20.0%	80.0%	
2.総合計画・総合戦略等の指標	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	88.9%	
合計	34.4%	42.2%	8.9%	14.4%	76.7%	